

本当にクリスマスに咲くバラでしょうか？

その問いの答えを考える前に「さくらそう；桜草」という早春に咲く可憐な花があります。

元々は野生ですが、江戸時代には武家に愛好栽培されました。花言葉は「青春のはじまりと悲しみ」「早熟と非哀」「運命を拓く」。

「桜草」は、英語で「primrose」とスペリング。つまり「(春に) prim 最初に咲く rose バラ；薔薇」という意味。しかし、桜草はバラではありません。

「桜草」の元々のスペルは primerole、「春に最初に咲く花」という意味でした。

日本人にとって花といえば桜ですが、英国人には花といえばバラ。



primerole という正しいスペルを知らない人たちが、花といえばバラ、role と rose の発音も似ていることから primrose にしてしまいました。

さて、クリスマスローズ、これにも同じような変化が起こったと、私は推測しています。

つまり、元々は英国でクリスマスの頃に咲く花で **christmasrole** と

スペリングしたものが、いつの頃からか **Christmas rose** になりました。

この花は見かけによらず、毒を含んでいます。

我が家の庭に咲いたクリスマスローズ 2 株

===== 西山和宏 [mfikazu@tkg.att.ne.jp](mailto:mfikazu@tkg.att.ne.jp)

全く知りませんでした。博識ですね。何故ローズと言うんだろう、と思っていました。勉強になりました。毒と言うと孫達には触らさないほうがいいのかな？ オオイシケイジ 2015.4.

○お答え:クリスマスローズを触った手で顔をなでないように目や口に触れないようにしたほうが無難です。 にしやま

